

# 平成 29 年度サテライト梨花の里アスピア事業報告書

## 1 事業内容

地域密着型特別養護老人ホーム（地域密着型介護老人福祉施設） 定員 29 名  
短期入所生活介護（空床利用型）  
介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

## 2 運営方針及び事業目標について

アスピアの平均介護度は 3.71（平成 30 年 3 月 31 日現在）。

入所率は特養部門で 95.4%、短期入所（予防を含む）部門では 1.0%、合計利用率としては 96.4%（昨年対比－2.4%）。

平成 29 年度は、「自立支援・個別ケア」に重点をおき、各部署が協働してサービス向上に努めた。

運営方針である入所者の尊厳ある暮らしについては、言葉遣いや接遇に関して職員間で意識を高め、入所者の尊厳を守り、入所者本位の支援に努めた。

個別サービス計画書については、入所者のニーズ・ご家族の思いを汲み入れ、多職種協働でサービスを提供した。サービス実施については 24 時間シートを基にユニットケアを実施している。

開設当初より、「水分・食事・排泄・運動・認知症」の理論を基にケアに努めている。個人差はみられるが、水分は 1 日 1500 cc を目標としている。また、食事では粥・刻み食から常食化へ移行できた方もいる。排泄については、オムツ使用者も気持ち良く（ポータブル）トイレで排泄が行えるように支援を継続した。運動や活動については介護職員、看護職員、機能訓練指導員と協力し歩行訓練を行うことで ADL の低下を防ぎ、重度化防止に取り組んだ。

認知症ケアについては、グループワークを通して全職種が認知症高齢者の心理を学んだ。1 年間を通して各ユニットが取り組んだ成果を事例発表した。

健康管理については、入所者の過半数は 90 歳を超えているため、嘱託医師と協力して入所者の健康管理に努めた。疾病による入院もあったが、退院後、また元気になられ施設での生活が継続できている。

機能訓練指導員はリハビリ体操を中心に入所者の意欲を引き出し、楽しく身体を動かせるよう努めた。

調理員は入所者の意見を取り入れ、定期的に食事作り、また新たにおやつ作りを入所者と一緒に行った。

地域貢献については、運営推進会議を通して地域の方に施設を利用していただけるよう意見交換を重ね次年度に繋げた。

### 3 介護福祉施設入所状況について

#### (1) 要介護度別入所者延べ人数

	要介護 度 1(日)	要介護 度 2(日)	要介護 度 3(日)	要介護 度 4(日)	要介護 度 5(日)	合計(人)	平均 (人)	利用率 (%)
H28 年度	1,061	455	2,386	3,991	2,421	10,314	28.2	97.4
H29 年度	548	1206	2,127	3,506	2,717	10,104	27.6	95.4

#### (2) 入所状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

地域別	男性(人)	女性(人)	計(人)
豊北町	7	18	25
豊浦町	0	1	1
豊田町	0	0	0
その他	0	2	2
合計(人)	7	21	28

#### (3) 年齢別の状況（平成 30 年 3 月 31 日現在）

年齢別	男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
～69 歳	1	0	1	3
70～79 歳	1	2	3	11
80～89 歳	3	6	9	32
90～99 歳	2	13	15	54
100 歳～	0	0	0	0
合計	7	21	28	100

最高年齢	
男	94 歳
女	99 歳
最低年齢	
男	68 歳
女	73 歳
性別平均年齢	
男	82.8 歳
女	90.7 歳
平均年齢	
	88.7 歳

(4) 入退所の状況

退所者

No.	退所日	退所理由
1	平成 29 年 4 月 29 日	死亡（施設にて）
2	5 月 30 日	死亡（病院にて）
3	6 月 14 日	死亡（施設にて）
4	9 月 27 日	死亡（施設にて）
5	11 月 1 日	死亡（施設にて）
6	11 月 22 日	入院により
7	平成 30 年 3 月 27 日	入院により

入所者

No.	入所日	待機場所
1	平成 29 年 5 月 11 日	有料
2	5 月 16 日	有料
3	6 月 13 日	老健
4	7 月 20 日	在宅
5	10 月 25 日	在宅
6	12 月 1 日	病院
7	12 月 18 日	病院

(5) 日常生活の状況(平成 30 年 3 月 31 日現在)

区分		男性(人)	女性(人)	計(人)	割合(%)
食事	自立	5	13	18	64
	一部介助	1	3	4	14
	全面介助	1	5	6	22
排泄	自立	2	1	3	11
	一部介助	4	12	16	57
	全面介助	1	8	9	32
入浴	一般浴	3	6	9	32
	中間浴	2	10	12	43
	特浴	1	6	7	25

(6) 給食の状況(平成 29 年度)

ア 栄養量等の状況

区 分		エネルギー (Kcal)	材料費 (給食 1 日単価)
1 日当たりの平均栄養量及び給食単価	平成 29 年度予定	1400kcal	680 円
	平成 29 年度実績	1413kcal	658 円

イ 保存食の状況

保存時間	336 時間	保存方法	-20℃以下冷凍保存
------	--------	------	------------

ウ 食事時間と検食

区 分	食事時間	検食時間	検食者
朝 食	8:00	7:30	当直者
昼 食	12:00	11:30	介護職員
夕 食	18:00	17:30	介護職員

4 平成 29 年度に行った主な行事

行 事 名	実施月	内 容
お花見	4 月	農協周辺と妙法寺に分かれて桜を見に行った。
豊北吹奏楽団演奏会	4 月	豊北生涯学習センターにて豊北吹奏楽団の演奏を聴いて過ごした。
お花見会	4 月	地域交流スペースでお花見をしながら食事をして過ごした。
附野お薬師大祭	5 月	地域行事に参加し健康を祈願した。
滝部小学校運動会見学	5 月	入所者と一緒に運動会を見学し応援した。
リフレッシュパーク	5 月	季節の花を見に行った。
菖蒲園	6 月	季節の花を見に行った。
家族会	6 月	入所者、ご家族と意見交換を行い、昼食を一緒に頂いた。午後は長門市の吹奏楽団を招いて演奏会を兼ねて喫茶を行った。

陶芸教室	7月	陶芸講師をお招きして入所者、職員とでマグカップを作った
七夕会	7月	豊北マジッククラブの方にお越しいただき、マジックショーを楽しんだ。
夕涼み会	9月	ボランティアの協力を得て、地域交流スペースにて屋台を行った。夕食後には盆踊りや花火をして過ごした。
梨花の里敬老会	9月	梨花の里と合同で梨花の里地域交流スペースにて来賓を招いて記念品の贈呈や藤由会によるお祝いの演芸を鑑賞した。
梨狩り	9月	中原農園へ梨狩りに行った。
アスピア敬老会	9月	アスピア地域交流スペースにて美扇会による舞踊の披露や職員は音楽体操を行い入所者のお祝いをした。
下関市老人福祉施設 交流演芸大会	10月	菊川アブニールでの演芸大会に梨花の里と一緒に参加し、コーラスやフラダンス、アンサンブルバックカスを観覧した。
アスピア運動会	10月	機能訓練指導員を中心に体操、玉入れ、ボール渡し、パン食い競争を行った。
ほうほく文化祭	11月	生涯学習センターに行き、豊北吹奏楽団と豊北中学校吹奏楽部による演奏会を見に行った
滝部小学校交流会	11月	滝部小学校4年生の児童を招き、施設見学や合唱、遊び歌などして交流を図った。
秋の収穫祭 バイキング	11月	調理員が中心となって、入所者と職員と一緒にバイキングを行った。
クリスマス バイキング	12月	調理員が中心となって昼食にバイキングを行い、入所者と一緒に食事を楽しんだ。
アスピア クリスマス会	12月	豊北こども園園児を招いて入所者と園児との交流を図った。
餅つき会	12月	入所者、職員とで正月用の餅つきを行い、一緒に餅入りぜんざいを食べた。
初詣	1月	滝部八幡宮にお参りに行った。
鏡開き	1月	地域交流スペースにて福笑いと二人羽織を行い、職員と一緒に正月餅をぜんざいにして食べた。
節分会	2月	鬼に扮した職員が各ユニットを回り、入所者と豆まきを行った。

うどんバイキング	2月	感染症の流行により、各ユニットで行い、入所者と一緒に食事した。
ひなまつり	3月	地域交流スペースにて機能訓練指導員を中心に歌の合唱や音楽体操、リハビリ体操等を行った。
おやつ作り	3月	調理員を中心に入所者と一緒にいちご大福を作って食べた。
消火避難訓練	7、11月	日中と夜間想定のお知らせ・消火・避難訓練を豊浦西消防署豊北出張所員立ち合いの下、運営推進委員と地域住民の協力を得て行った。
防災避難訓練	9月	豊浦西消防署豊北出張所員立ち合いの下、自然災害（風水害）を想定した避難訓練を行った。
入所者・職員懇談会	7、11、3月	ユニット毎に2度、全体として1度行った。
喫茶	毎月 第2火曜日	ボランティア主体で行った。
ユニット行事	ユニット毎 に随時	10月、11月はユニット毎で角島、豊北道の駅、川棚たかせに行った。12月、1月にはユニット毎にクリスマス会、新年会を行い一緒に食事やゲームをして楽しんだ。
レクリエーション	毎日	地域交流スペースで、カラオケ、音楽体操、ボール遊び等を行った。
食事作り	年4回	調理員が中心となり入所者の作りたいメニューを考えて入所者・職員とで昼食を作り一緒に食べた。
法話	毎月	浄土宗と浄土真宗の副住職が梨花の里と交互に1年間法話を行った。
法要	8、3月	お盆とお彼岸に施設で亡くなられた方の追悼供養を行った。
美容の日	毎月	毎月入所者の希望に応じ散髪をした。9月は敬老のお祝いで無料ボランティアを行った。

## 5 その他の事業

### (1) 短期入所生活介護事業及び介護予防短期入所生活介護（空床利用型）

	要支援 1(日)	要支援 2(日)	要介護 1(日)	要介護 2(日)	要介護 3(日)	要介護 4(日)	要介護 5(日)	合計 (日)	利用 率(%)	空所に対す る利用率 (%)
H28 年度	0	12	32	37	69	3	0	153	1.4	56.6
H29 年度	0	24	49	0	34	0	0	107	1.0	22.2

### (2) 要介護認定調査業務(下関市委託業務)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 6 家族の面会状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	1日 平均
人数	211	210	162	220	267	245	189	156	198	235	77	130	2300	6.3

※延べ人数

7 職員体制について(平成 30 年 3 月 31 日現在)

	現員 (人)	平成 29 年度中における異動等		
		退職者 (人)	採用者 (人)	異動者 (人)
施設長	1			
事務職員	1			
生活相談員	(2)			
看護職員	1(1)			
介護職員	14	2		5
介護支援専門員	(3)			(1)
機能訓練指導員	0			
栄養士	0			
調理員兼務介護職員	0			
常勤パート (事務職員)	0			
〃 (看護職員)	0			
〃 (介護職員)	2			
〃 (栄養士)	1			
〃 (調理員兼務介護職員)	3		1	
非常勤パート (看護職員)	1			
〃 (介護職員)	4			
〃 (栄養士)	0			
〃 (機能訓練指導員)	1			
〃 (調理員兼務介護職員)	1			
嘱託医師	1			
合 計	31 (6)	2	1	5(1)

( )の数字は他職種との兼務を示す



## 8 職員の会議

会議名	開催月	内容
職員会議	4、6、8、10、12、2、3月	連絡事項や研修の複伝、施設内研修を行った。
運営会議	毎月	施設経営、運営に関する会議を行った。
リーダー会議	毎月	行事確認、給食、入所者処遇会議等を行った。
ケアプラン会議	毎月	各職種が集まり介護力向上の理論を盛り込んだケアプランの検討を行った。
質の評価 検討委員会	6、10、2月	山口県のサービス自己評価の様式を用い、1年間サービスの質の向上の為に活動した。
ケア向上委員会	毎月	職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善について話し合いを行った。

- ・施設内で各ユニットが1年間の取り組みを事例として発表。
- ・梨花の里合同の職員研修（看取り研修）では外部講師を招いて行った。
- ・ケア向上委員会では、職員の労働環境面で大きく改善が図れた。

## 9 各種委員会の活動

委員会名	開催月	内容
事故発生・防止委員会	5、8、9、11、1、3月	事故予防等の検討を行った。
感染症対策委員会	5、8、11、2月	食中毒やインフルエンザ等の感染症予防等の計画や指針の策定を行った。
身体拘束等防止・監視委員会	5、7、9、11、1、3月	身体拘束の事例の検討等を行った。
褥瘡対策チーム	4、6、8、10、12、2月	入所者の褥瘡の状況について確認し、対応策の協議等を行った。
食事内容の検討会議	4、7、10、1月	食事内容の検討を行った。
医療的ケアの安全対策委員会	6、9、12、3月	痰の吸引、嚥下状態等について確認・協議した。

- ・感染症については、職員からインフルエンザの発症がした。感染拡大を防ぐため緊急時感染症対策委員会を設置した。迅速に対応したため入所者へ感染はなかった。

10 研修会の参加(主な研修会)

研修名	施設長	事務職員	介護支援専門員	生活相談員	看護職員	介護職員	栄養士	介護職員 調理員兼務	合計
山口県老人福祉施設運営研修会	1								1
第1回認定調査員（新規及び現認Ⅰ）研修			1						1
介護支援専門員更新研修Ⅰ			2						2
山口県老人福祉施設新任職員研修会						1			1
老人福祉施設リハビリテーション研修									0
老人福祉施設中堅職員（第2部）									0
第47回山口県老人福祉施設相互研修会				1		3			4
第49回中国地区老人福祉施設研修大会				1					1
高齢者福祉施設向け虐待防止研修会				1					1
老人福祉施設レクリエーション研修									0
認知症介護実践研修									0
老人福祉施設給食担当職員研修							1		1
老人福祉施設ソーシャルワーク実践研修									0
社会福祉法人会計研修会（新任研修）		1							1
社会福祉法人会計研修Ⅰ									0
社会福祉法人会計研修Ⅱ									0
社会福祉法人会計研修会「決算実務研修」		1							1
感染症対策研修会									0
老人福祉施設指導的職員研修									0
合計	1	2	3	3	0	4	1	0	14

- ・人員不足により、必要な研修会への参加が実施できなかった。
- ・全ての職種が研修に参加できなかった。
- ・山口県老人福祉施設相互研修では梨花の里の事例発表が山口県から選抜されたことにより、中国地区老人福祉施設研修大会に参加することができた。